

高原 誠グループ副代表 (右)、住江 悠大
阪事務所長 (中)、田村嘉隆名古屋事務
所長 (左)。「常に心がけているのは、立
場や気持ちに寄り添う『聞く・聴く・訊く』
の姿勢です」



空室問題への対処」「借地・底地の整理」など、不動産コンサルティングへの対応について、今まで以上に積極的に行っていく予定である。ほかに、豊富な相続税における土地評価のノウハウを生かし、資産税を専門としない他の税理士から相続税案件の土地評価を引き受けるサービスなども強化している。

同グループでは、スタッフとして、「相続のプロ」であるとの自覚が当然求められ、相続の知識や業務経験がある人材は歓迎される。しかし最も大切とされるのは「意欲」である。たとえ「知識に不安がある」という人であっても、先輩スタッフがOJTで丁寧に指導してくれる上に、社内勉強会や外部セミナーといった知識を高めるためのフォローも充実しており、心配は不要である。そして、年間約800件の案件を引き受けている同グループでは、実際にさまざまなケースを担当し経験することができ、つまり、意欲次第でいくらでも実力が身に付く環境が整っている。

同グループでは、「頼まれごととは試されごとの精神で」を行動指針の一つに挙げており、この考えのもと、常に依頼主の予測や期待を上回るサービスを心がけている。貢献意識を持って顧客の話に素直に耳を傾け、自ら考えて顧客のために行動する。この発想があればこそ、「素直さ」「意欲」「創意工夫」を重視する社風と相まって、自らの業務の幅を広げていくことも可能なのだ。顧客からの信頼と実績を積み重ねてきた同グループには、予測を上回る今後の飛躍が待っている。

予測や期待を上回るサービスを心がけています

フジ総合グループは、設立以来、5800件以上の相続関連業務に携わってきた、資産税に特化した事務所である。その大きな特徴は、「相続専門税理士」と「財産評価に強い不動産鑑定士」との協働体制を敷いている点だ。相続税の計算の基礎となる相続財産で、「土地」が占める割合は大きい。だが、その評価は難しく、経験とノウハウの差が評価差、税額差となって表れる。そのため、財産評価に強い不動産鑑定士が多数在籍している「フジ総合鑑定」では、最新の判例研究や過去の事例の検証、不動産鑑定評価の適用の検証をす

設立以来、携わってきた
相続関連業務は、5800件以上

ることで独自のノウハウを蓄積し、相続税における適正な土地評価を可能にできた。この専門性が最もよく生きるのが、多くの土地を保有するクライアントの相続税申告等の業務である。「フジ相続税理士法人」は、不動産鑑定士との協働体制が生きるよう会計顧問業務の対象業態は絞りつつ、資産税を主軸として専門性を高めてきた事務所だ。複雑かつ膨大な相続税申告等、対応できる税理士に限られる案件であっても、「フジ総合鑑定」との連携、自らの専門性の発揮により、適切かつ迅速な対応を実現しており、このことがクライアントの信頼につながっている。

また同グループでは、最近では、不動産に関する相談も多い。「遊休土地の活用」「相続不動産の売却」「共有不動産の解消」「空き家・

個 資 ア



DATA

- 代表者名 | フジ相続税理士法人：高原 誠
株式会社フジ総合鑑定：藤宮 浩
- 創立 | 1992年11月
- Address | 〒160-0022
東京都新宿区新宿2-1-9
AIRA新宿御苑ビル2階・9階
☎ 03-3350-1061
- ホームページ | <https://fuji-sogo.com>